

令和3年産

# 大崎稲作情報 第3号

令和3年6月15日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

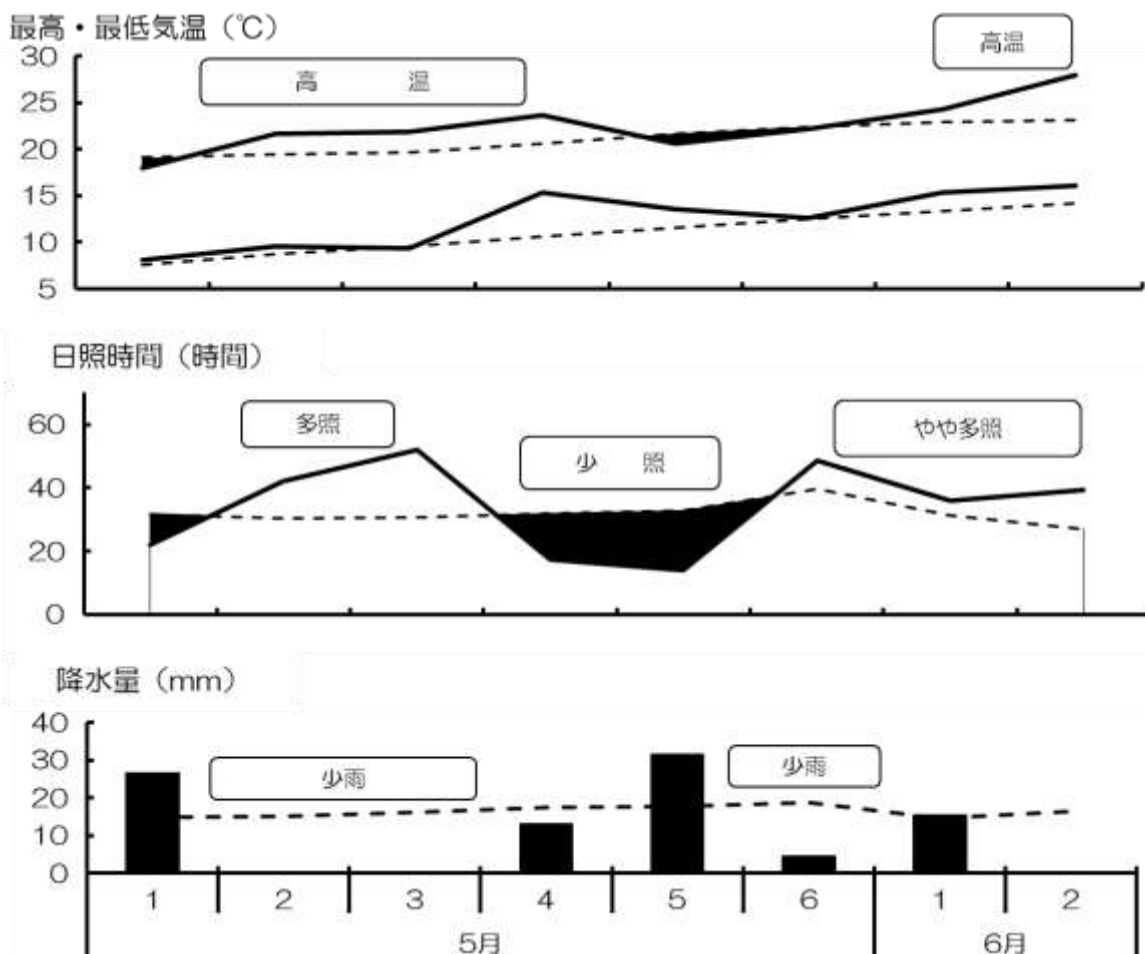
## 今後の管理のポイント

中干し前までは、浅水管理や間たん灌水を行いましょう。中干しは有効茎数に達したら行いましょう

補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょう。いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう

## 1. 気象経過

- 5月の第4～5半旬は日照時間が短く、まとまった降雨もありました。6月上旬は、第1半旬に降雨があったものの、気温は平年より高く、日照時間は平年より多くなりました。



## 2. 生育概況（6月10日現在）

- 6月上旬は気温と日照時間が平年を上回ったことで生育は回復傾向で、草丈は平年よりもやや短め、茎数・葉数・葉色は平年を上回っていますが、生育回復の遅れているほ場もあります。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月2日 (3日早い)	27.5 (93%)	299 (110%)	7.5 (+0.2)	44.1 (+2.2)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月16日 (1日早い)	27.8 (95%)	188 (101%)	7.2 (+0.9)	37.4 (-2.1)	
ササニシキ	大崎市古川	5月10日 (1日遅い)	34.1 (117%)	108 (44%)	6.3 (-0.8)	34.6 (-3.0)	
つや姫	色麻町四竈	5月3日 (1日遅い)	32.3 (106%)	368 (106%)	7.6 (+0.6)	45 (-2.1)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月16日 (13日遅い)	32.1 (83%)	163 (65%)	7 (-0.9)	39.6 (-5.3)	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	5月10日 (3日遅い)	31.6 (109%)	233 (75%)	7.8 (-0.4)	40.3 (-1.9)	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	5月14日 (平年並み)	30.2 (93%)	322 (139%)	6.7 (-0.2)	38.5 (-1.1)	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月22日 (2日早い)	24.8 (102%)	58 (76%)	5.2 (+0.1)	33.4 (+1.6)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月16日 (2日早い)	28.4 (98%)	278 (128%)	6.9 (+0.4)	38.4 (+2.7)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月3日 (4日早い)	17.5 (99%)	119 (78%)	5.2 (+0.6)	- (-)	
県平均（ひとめぼれ 24ほ場）			28.1 (97%)	231 (95%)	6.9 (-0.3)	40.3 (+1.1)	

※平年比・差は前5か年（平成28年～令和2年）の平均値との比較  
平年値のないほ場は前年比・差での比較

## 3. 今後の管理

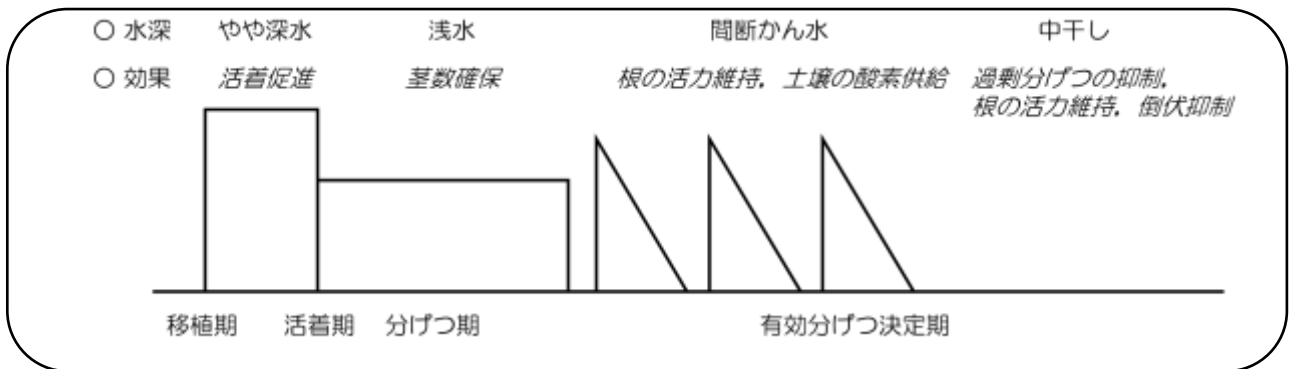
### 1) 水管理 **浅水管理・間断かん水の実施**

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、適切な水管理を行いましょ。

- ✓ 生育回復の遅れているほ場では浅水管理により、分けつを促しましょう。
- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょ。中干しは目標茎数に達したら、早めに行いましょ。

#### 目標茎数の目安

ひとめぼれ 410本～460本/m<sup>2</sup>  
ササニシキ 480本～510本/m<sup>2</sup>  
だて正夢 350本～400本/m<sup>2</sup>



## 2) いもち病防除 補植用稲は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合，周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 飼料用米や直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は，水面施用剤を散布しましょう。

### ◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

農作業中の事故は農業機械によるものが多く，また，機械の転倒や転落が大きな要因となっています。あぜ越えや路肩を走行する際は油断せずに，後方確認を行い足元にも注意しましょう。

重点推進テーマ 「見直そう！農業機械作業の安全対策」

### ◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて，農作物等の病害虫が発生しやすく，農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため，農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「農薬は 周りに配慮し 正しく使用」

## 東北地方 1 か月予報

(6月12日から7月11日までの天候見通し)

令和3年6月10日

仙台管区气象台 発表※抜粋

### <予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は高い確率50%です。

1週目は、高い確率70%です。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	20	30	50
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	40	30	30

### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	20	70
2週目	東北地方	40	30	30
3~4週目	東北地方	30	40	30